



稲浜通信

～from Inahama Junior High School～

学校だより R6 年 第1号 令和6年6月18日発行
千葉市立稲浜中学校
千葉市美浜区稲毛海岸2-3-3
TEL 043-247-8500

校長 米倉 秀明

この4月に第18代校長として着任いたしました、米倉秀明と申します。昨年度までは、花園中学校の教頭でしたが、今年度、ご縁がありまして稲浜中学校の校長に初めて就任することになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年度総勢9名の教職員が着任し、顔触れは変わりましたが、教職員が一丸となり学校教育目標である「豊かな心をもち 自ら正しく判断し 行動できる生徒の育成」を目指し、気持ちを新たに、稲浜中学校での教育実践を積み重ねてまいります。

前期始業式では、新2・3年生の皆さんに、この学校教育目標を達成するために意識してほしいことを、私から「3つの『あい』」というキーワードで示したいと思います。この「3つの『あい』」というキーワードとその意味する内容について、皆さんの心に刻んでほしいと思います。

一つ目の「あい」は、「挨拶」です。「挨拶」は、気持ちを伝えあうコミュニケーションの第一歩。「挨拶」を通して、学級、学年、学校全体へと、コミュニケーションの輪が広がっていくことを期待しています。→**学校教育目標の土台となる部分です。**

二つ目の「あい」は、「アイディア」です。「アイディア」は、「考え」という言葉に置き換えることができます。自ら学び、考え、表現することを通して、確かな学力が身に付いていくことを期待しています。→**「自ら正しく判断し 行動できる」につながります。**

三つ目の「あい」は、「愛情」です。「愛情」とは、相手を思う温かな気持ちと言えます。相手を思いやり、互いを認め合い、協力し合い、高め合える、心豊かな人間関係づくりを期待しています。→**「豊かな心をもち」につながります。**

特に4月は新たな出会いの時期でもありますので、一つ目の「あい」、挨拶に重点を置いてほしいと思います。私を含め教職員が率先して、明るく元気な挨拶を心掛けます。

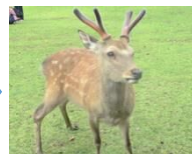
「稲浜中学校の生徒でよかった」「稲浜中学校に子どもを通わせてよかった」と思ってもらえるような教育活動を展開し、稲浜中学校の歴史に新たな1ページを刻んでいきたいと思っています。今年度も、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

初志貫徹 ～全校生徒で創る生徒会～

5月8日(水)に生徒総会が行われました。
令和6年度の生徒会スローガンは上記にあるように、「初志貫徹～全校生徒で創る生徒会～」です。

最初に、生徒会長の T さんが「生徒総会の意義」について説明しました。入学したての1年生も積極的に意見を述べ、またその意見にわかりやすく回答をしている3年生の姿も大変立派でした。4・5月の生徒会目標の1つは「稲浜中の良さを伸ばそう」でしたが、生徒のみなさんは意識して行動できましたか??

3年生が修学旅行に行ってきました



5月19日から2泊3日で、3年生は京都に修学旅行に行きました。1日目は薬師寺での法話、2日目は班別活動、3日目は座禅体験などしてきました。

最後の夏に向けて スタート！！

1年生も正式入部をし、令和6年度の部活動がいよいよ始動し始めました。夏の総体前の最後の大会である「春の大会」の結果をお知らせします。

野球部	: 稲浜中 0 - 7 草野中
サッカー部	: 稲浜中 0 - 11 千代西中
バレーボール部	: 2 回戦進出
バドミントン部	: 個人戦 C・Y ペア ブロック2位 中央トーナメント出場
バスケ部(女子)	: ブロック決勝 稲浜中 50 - 82 加曽利中
(男子)	: ブロック決勝 稲浜中 36 - 51 加曽利中
ソフトテニス	: 団体戦 稲浜中 1 - 2 幕張西中 個人戦 C・M ペア2回戦進出
陸上競技部	: 記録会 100m出場 M・S・k・M 1500m出場 I・O 幅跳び出場 A・M

稲浜中ちょっとメモ

授業参観では多くの保護者の方にお越しいただきまして、ありがとうございました。教室での授業をご覧いただけた方の中にはお気づきになった方もいらっしゃるかもしれませんが、稲浜中の各教室の前面はあえて掲示物を少なくしています。

これは、合理的配慮の一つで、視覚情報の処理が苦手な生徒のために、授業中に見る黒板周りの情報量を減らして、生徒が集中しやすくするという取組のためです。

学校の設備など大掛かりなものはなかなかすぐには変えることが困難ですが、先生方の力で少しずついろいろな対応をしていけるよう工夫をしています。

令和6年度体育祭

「輝憶」 ～楽しんだものが必ず勝利する～

実行委員長 O S

私は、体育祭実行委員長として、責任や苦勞など、たくさん学ぶことができました。全体をまとめる時など、数多く失敗する中で、「指示の仕方」や「相手を知ること」、「どうやったらみんなが動いてくれるか」などを考えることの大切さに気がきました。自分よりも周りのことを考えるのは初めてでした。

最後となりますが、今年の体育祭がみんなの「輝憶」になっていれば嬉しいです。私は稲浜中史上最高の体育祭になったと思います。私に貴重な経験をさせてくださり、ありがとうございました。



今年度の体育祭は雨で順延となり、5月30日(木)に行われました。体育祭を終えて実行委員長、副実行委員長の感想をご紹介します。



副実行委員長 Y K

僕は、体育祭副実行委員長を務めて、人前で立つて話すこと、そして人をまとめることの難しさを学びました。

何回か人前で話す機会があったのですが、声のボリューム、トーン、話し方、内容など様々な要素を気にしなくてはいけなかった所が大変でした。そして、人をまとめ上げるにもそれなりの技量やリーダーシップが必要であるということを、身をもって感じました。

何はともあれ、体育祭が成功してよかったです。